信州大学麻酔科専門研修プログラム

（大都市圏あるいは大学のモデルプログラム）

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は，周術期の患者の生体管理を中心としながら，救急医療や集中治療における生体管理，種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において，患者の命を守り，安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで，国民の健康・福祉の増進に貢献する．

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは，人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え，生体の侵襲行為である手術が可能なように管理する生体管理医学である．麻酔科専門医は，国民が安心して手術を受けられるように，手術中の麻酔管理のみならず，術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う，患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである．同時に，関連分野である集中治療や緩和医療，ペインクリニック，救急医療の分野でも，生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし，国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う．

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

本研修プログラムでは，専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し，十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する．また多職種による専攻医評価とフィードバックを計画している．

麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に記されている．

3. 専門研修プログラムの運営方針

- 小児麻酔，集中治療，ペインクリニック・緩和医療を3か月間ずつ研修する．
- 研修内容・進行状況に配慮して，プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるようローテーションを構築する．
- すべての領域を満遍なく回るローテーションを基本とするが，小児診療を中心に学びたい者へのローテーション（後述のローテーション例B），ペインクリニックを学びたい者へのローテーション（ローテーション例C），集中治療を中心に学び

たい者へのローテーション（ローテーション例D）など，専攻医のキャリアプランに合わせたローテーションも考慮する．

研修実施計画例

	A（標準）	B（小児）	C(ペイン)	D（集中治療）
初年度	本院	本院	本院	本院
２年度前期	本院 こども病院	本院	本院 こども病院	本院 こども病院
２年度後期	本院 （集中治療）	本院 （集中治療）	関連施設	関連施設
３年度前期	関連施設	こども病院	関連施設	関連施設
３年度後期	関連施設	こども病院	本院（＋ペイン・緩和研修）	本院 （集中治療）
４年度前期	本院（＋ペイン・緩和研修）	本院（＋ペイン・緩和研修）	本院 （集中治療）	本院 （集中治療）
４年度後期	本院	本院	本院	本院

週間予定表

本院麻酔ローテーションの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	休み	休み	手術室	休み	休み
午後	手術室	術前外来	手術室	休み	手術室	休み	休み
当直			当直				

4. 研修施設の指導体制

① 専門研修基幹施設

研修実施責任者：田中　聡

専門研修指導医：田中　聡（麻酔、ペインクリニック）
間宮　敬子（緩和医療、ペインクリニック）
石田　高志（麻酔）
石田　公美子（麻酔）
伊藤　真理子（麻酔）
渡邉　奈津子（麻酔）
丸山　友紀（麻酔、心臓血管麻酔）
新井　成明（麻酔、心臓血管麻酔）
田中　竜介（麻酔）
山田　利恵子（麻酔）
田中　成明（麻酔、緩和）

専門医：大場　衣梨子（麻酔）
後藤　咲耶子（麻酔）
蜜澤　邦洋（麻酔）
飯田　圭輔（麻酔）
笠原　智貴（麻酔、心臓血管麻酔）
相馬　一馬（麻酔）
清水　布実子（麻酔）
小川　麻理恵（麻酔）
沼田　佳保里（麻酔）
松崎　敦子（麻酔）
白鳥　颯人（麻酔）

麻酔科認定施設番号：31

特徴：集中治療、ペインクリニック、緩和医療のローテーション可能。覚醒下開頭手術の麻酔、肝移植の麻酔などを修練可能。胸部大血管手術における神経機能モニタリングなどを行っている。

連携施設

長野赤十字病院

研修実施責任者：布施谷　仁志

専門研修指導医：布施谷　仁志（麻酔、ペインクリニック）
清水　彩里（麻酔、集中治療）
黒岩　香里（麻酔、心臓麻酔）
吉山　勇樹（麻酔、ペインクリニック）

専門医：山田　友克（麻酔、心臓麻酔）
駒田　翔（麻酔）

認定病院番号：438

特徴：地域の中核総合病院. 外科系各診療科の麻酔を経験できる. 心臓血管麻酔専門医認定施設.

長野市民病院

研修実施責任者：川上　勝弘

専門研修指導医：川上　勝弘（麻酔、小児麻酔）
高野　岳大（麻酔）
島田　久美（麻酔）
北川原　康子（麻酔）
成田　昌広（麻酔）

専門医：赤沼　佑里子（麻酔）
小松　慶之（麻酔）

認定病院番号：785

特徴：地域の中核総合病院. がん診療を重視する一方、整形外科の症例も豊富.

南長野医療センター　篠ノ井総合病院

研修実施責任者：坂本　明之

専門研修指導医：中島　浩一（麻酔）
坂本　明之（麻酔、ペインクリニック、緩和ケア）
田中　秀典（麻酔、心臓血管麻酔、集中治療）
平森　明子（麻酔）
鈴木　真依子（麻酔）

認定病院番号：639

特徴：地域の中核総合病院。心臓血管麻酔、ペインクリニック、緩和ケア、集中治療領域の研修指定病院なので、資格取得義務年限への組み入れ可能。

北信総合病院

研修実施責任者：菱沼　典正

専門研修指導医：菱沼　典正（麻酔、心臓麻酔、緩和ケア）

馬場　浩介（麻酔、緩和ケア、ペインクリニック）

城下　裕子（麻酔）

認定病院番号：291

特徴：地域の中核総合病院．地域がん診療病院．希望者は緩和ケアチームへの参加可能．

長野県立信州医療センター

研修実施責任者：浦澤　方総

専門研修指導医：浦澤　方総（麻酔、ペインクリニック）

専門医：清水　俊行（麻酔、東洋医学）

専門医：笠間　進（麻酔）

認定病院番号：963

特徴：地域の中核的病院　外来は週4日（ペインクリニック、漢方専門外来）

長野松代総合病院

研修実施責任者：水戸野　裕之

専門研修指導医：水戸野　裕之（麻酔・医療安全・高気圧酸素治療）

鬼頭　剛（麻酔・ペインクリニック）

伊藤　真騎（麻酔）

認定病院番号：683

特徴：医学者でもあった佐久間象山先生の教えを受け継ぐ歴史の町松代の中核的病院．整形外科手術が多く、特にスポーツ整形は人気があり、スポーツ外傷の治療に参加可能．

安曇野赤十字病院

研修実施責任者：坪川　和範

専門研修指導医：坪川　和範（麻酔、ペインクリニック）

専門医：銅谷　実　（麻酔）

認定病院番号：658

特徴：地域の中核総合病院、地域医療支援病院．

まつもと医療センター

研修実施責任者：新倉　久美子

専門研修指導医：新倉　久美子（麻酔、集中治療）

認定病院番号：312

特徴：地域の中核病院。消化器外科、呼吸器麻酔、整形外科、超高齢者、重症心身障害者の麻酔が多い.

相澤病院

研修実施責任者：小笠原　隆行
専門研修指導医：小笠原　隆行（麻酔）
蒲生　正裕（麻酔）
丹下　大祐（麻酔）
花岡　透子（麻酔）
田口　千聡（麻酔）
岩島　未奈（麻酔）
認定病院番号：860
特徴：地域の中核総合病院．小児を除けば各診療科の手術で豊富な麻酔経験が可能.

丸の内病院

研修実施責任者：安藤尚美
専門研修指導医：安藤尚美（麻酔）
加藤幹芳（麻酔）
村上育子（麻酔）
認定病院番号：1536
特徴：整形外科の症例が豊富．他、産婦人科、外科が多い.

諏訪赤十字病院

研修実施責任者：池野　重雄
専門研修指導医：池野　重雄（麻酔、ペインクリニック）
竹腰　正輝（麻酔、集中治療）
専門医：笹尾　昂司
認定病院番号：590
特徴：地域の中核病院．ペインクリニックのローテーション可能.

伊那中央病院

研修実施責任者：笹尾　潤一
専門研修指導医：笹尾　潤一（麻酔，ペインクリニック）
篠原　顕治（麻酔、ペインクリニック）
白鳥　徹（麻酔，集中治療）
認定病院番号：637

特徴：地域の中核総合病院、地域がん診療連携拠点病院、救命救急センター、地域周産期母子医療センター、地域医療支援病院.

佐久総合病院 佐久医療センター

研修実施責任者：清水 賢一

専門研修指導医：清水賢一（麻酔）
萩原一昭（麻酔）
川真田樹人（麻酔）
後藤真也（麻酔）
室伏真里（麻酔）
山添泰佳（麻酔）

認定病院番号：1682

特徴：地域の中核総合病院。 重症例、 緊急症例を含む様々な術式と幅広い年齢層の患者が多く集まり、 さまざまな手術の麻酔を幅広く経験することができる． ペインクリニック、集中治療の研修が可能。

飯田市立病院

研修実施責任者：岩澤健

専門研修指導医：岩澤健（麻酔）
原克実（麻酔・ペインクリニック）
久米文子（麻酔）
沓名慎也（麻酔）

認定病院番号：512

特徴：特徴：地域で中心的な役割を果たす手術施設．希望者は緩和ケアチームへの参加・ペインクリニック研修可能

京都府立医科大学附属病院

研修実施責任者：天谷文昌

専門研修指導医：天谷文昌（麻酔・ペインクリニック・緩和医療）
小尾口邦彦（集中治療）
石井祥代（麻酔）
内藤慶史（麻酔）
飯田　淳（麻酔）
早瀬一馬（麻酔・ペインクリニック・緩和医療）
松田　愛（麻酔・集中治療）

木下真央（麻酔）
山北俊介（麻酔）
井上美帆（麻酔・集中治療）
谷口彩乃（ペインクリニック・緩和医療）
前田知香（麻酔・ペインクリニック・緩和医療）
山田知見（麻酔）
堀井靖彦（麻酔）
松岡　豊（麻酔・ペインクリニック・緩和医療）
永井義浩（ペインクリニック・緩和医療）
井上敬太（麻酔・集中治療）
仲宗根ありさ（ペインクリニック・緩和医療）
大屋里奈（ペインクリニック・緩和医療）
平川由佳（ペインクリニック・緩和医療）
松尾佳那子（ペインクリニック・緩和医療）
越田晶子（ペインクリニック・緩和医療）

専門医：北口菖子（麻酔・集中治療）
髙橋裕也（麻酔）
矢持祥子（麻酔）
藤田　怜（麻酔）
小川達也（ペインクリニック・緩和医療）

麻酔科認定病院番号：18

特徴：集中治療、ペインクリニックのローテーション可能

和歌山県立医科大学附属病院

研修実施責任者：川股 知之

専門研修指導医：川股 知之　（麻酔、ペインクリニック、緩和医療）
時永 泰行　（麻酔）
神田 浩嗣　（麻酔、心臓血管外科麻酔）
栗山 俊之　（麻酔、ペインクリニック、緩和医療）
山﨑 亮典　（麻酔、区域麻酔）
槙野 仁奈　（麻酔）
平井 亜葵　（麻酔）
黒崎 弘倫　（麻酔）
吉田 朱里　（麻酔、小児麻酔、心臓血管外科麻酔）
神田 佳典　（麻酔）
丸山 智之　（麻酔、ペインクリニック）

山﨑 景子　（麻酔、集中治療）
専門医：関 尭文　　（麻酔）
角南 昇吾　（麻酔）
中村 安寿左（麻酔）

麻酔科認定施設番号：40
特徴：　ペインクリニック、緩和ケア、集中治療のローテーション可能
ロボット支援手術・経カテーテル大動脈弁留置術・低侵襲心臓手術など先進的手術症例、小児心臓外科手術、高度救命救急センターならではの救急手術症例など多くの手術症例を経験できる。また、無痛分娩、エコーガイド下・透視下ブロックを駆使したペインクリニック研修、緩和ケア病棟・緩和ケアチームでの研修、集中治療の研修といったフレキシブルな研修ができる。

2025年度　麻酔科管理症例数 6,273症例

小児（6歳未満）の麻酔	206 症例
帝王切開術の麻酔	146 症例
心臓血管手術の麻酔	413 症例
胸部外科手術の麻酔	338 症例
脳神経外科手術の麻酔	207 症例

国立循環器病研究センター

研修実施責任者：前田　琢磨
専門研修指導医：前田　琢磨
南　公人
下川　亮
月永　晶人
森永　將裕
三浦　真之介

麻酔科病院認定番号　168　　1978 年麻酔科学会認定病院

2025 年麻酔科管理全症例数　　2494 症例
小児（6 歳未満）　　230
帝王切開　　52
心臓血管手術　　1706
胸部外科　　13

センター手術室は 12 室であり、そのうち 4 室はハイブリッド手術室です。ロボット手術専用室や COVID 対応陰圧手術室も設置しています。特に冬は緊急大動脈解離手術が多くなります。劇症型心筋炎や心筋症増悪に対する左室補助装置装着手術も多いです。心臓移植はおよそ月 1 回程度あります。麻酔科医はスタッフ 8 名レジデント 18 名で対応しています。休日を含めた毎日、麻酔科医 2 名が当直、オンコール 1 名ですべての緊急症に対応しています。

浅間南麓こもろ医療センター

研修実施責任者：田中　幸一
専門研修指導医：田中　幸一（麻酔）
認定病院番号：664
特徴：訪問診療に力を入れている.

長野中央病院

研修実施責任者：中村　達弥
専門研修指導医：中村　達弥（麻酔、集中治療）
石田　有美（麻酔）
認定病院番号：1037
特徴：地域に根ざした病院.

信州上田医療センター

研修実施責任者：望月　憲招
専門研修指導医：望月　憲招（麻酔）
今井　典子（麻酔）
大田　恵理子（麻酔）
木内　千暁（麻酔）
認定病院番号：1618
特徴：地域医療支援病院.

北アルプス医療センターあづみ病院

研修実施責任者：新倉　明和
専門研修指導医：新倉　明和（麻酔）
専門医：近藤　奈未（麻酔）
認定病院番号：1217

特徴：地域の中核総合病院、希望により緩和ケアチームへの参加可能.

長野県立こども病院

研修実施責任者：市野　隆

専門研修指導医：市野　隆（麻酔、小児麻酔）

清澤　研吉（麻酔）

認定病院番号：666

特徴：小児専門病院、総合周産期母子医療センター、小児麻酔・先天性心疾患麻酔・産科麻酔の研修可能.

昭和伊南総合病院

研修実施責任者：大房　幸浩

専門研修指導医：大房　幸浩（麻酔、ペインクリニック）

認定病院番号：923

特徴：長野県南部に位置し地域医療の中心を担う病院である．特に消化器病センターにおける内視鏡検査症例数は2万例を誇るため、多くの消化器病手術を経験できる.

杏林大学医学部付属病院

研修プログラム統括責任者：森山　潔

専門研修指導医：森山　潔　（集中治療）

萬　知子　（手術麻酔全般・医療安全）

鎮西　美栄子　（緩和医療）

徳嶺　譲芳　（手術麻酔全般・医療安全）

関　博志　（手術麻酔全般・周術期管理）

小谷　真理子　（集中治療）

藤井　範子　（心臓麻酔）

渡辺　邦太郎　（区域麻酔・ペインクリニック）

本保　晃　（周術期管理・産科麻酔）

足立　智　（心臓麻酔）

安藤　直朗　（手術麻酔全般）

澤田　龍治　（区域麻酔・ペインクリニック）

専門医：朽名　佳代子　（手術麻酔全般）

江間　章悟　（産科麻酔・小児麻酔）

元山　宏展　（手術麻酔全般・集中治療）

吉川　貴紘　（手術麻酔全般）

秋澤　千尋　（手術麻酔全般・ペインクリニック）

小野　元彰　　（手術麻酔全般・集中治療）
川船　麦　　（手術麻酔全般）
齊藤　由希子　（手術麻酔全般・集中治療）
平井　茉莉　　（手術麻酔全般・ペインクリニック）

認定病院番号 147

特徴：東京都多摩地区の基幹病院です。多摩地域唯一の大学病院の本院で，年間約 7,000 件超の麻酔科管理症例があり、麻酔科専門医に必要な手術症例を偏りなく研修することができます。ロボット手術や大動脈ステント、TAVI、Mitra Clip といった先進医療や高難度手術の症例も経験可能です。術前診察外来、術後疼痛管理チーム、集中治療、無痛分娩、ペインクリニックの症例も豊富です。手術麻酔に限らず、周術期管理を通して、患者の安全に寄与できる麻酔科医の育成を目指しています。

埼玉医科大学総合医療センター

研修実施責任者：鈴木 俊成

専門研修指導医：小山 薫 （麻酔，集中治療）
照井 克生 （麻酔，産科麻酔）
小幡 英章 （麻酔，ペインクリニック）
鈴木 俊成 （麻酔，区域麻酔）
田村 和美 （麻酔，産科麻酔）
佐々木 麻美子 （麻酔，小児麻酔）
山家 陽児 （麻酔，ペインクリニック）
加藤 崇央 （麻酔，集中治療）
田澤 和雅 （麻酔）
加藤 梓 （麻酔，産科麻酔）
北岡 良樹 （麻酔，心臓麻酔）
佐々木 華子 （麻酔）
金子 恒樹 （麻酔，産科麻酔）
吉田 由惟 （麻酔，産科麻酔）
伊野田 絢子（麻酔）
金子 友美（麻酔）
黒川 右基 （麻酔、集中治療）
坂本 尚子 （麻酔、集中治療）
岡田 啓 （麻酔、集中治療）
岩山 香坂 （麻酔、産科麻酔）
原口 崇 （麻酔、産科麻酔）

専門医：黒木 将貴 （麻酔、心臓麻酔）

大久保 訓秀 （麻酔、集中治療）
野口 翔平 （麻酔、産科麻酔）
松浦 千穂 （麻酔、産科麻酔）
篠崎 奈可 （麻酔）
永井 隆文 （麻酔）
高山 瑠衣 （麻酔）
木村 亜紀子（麻酔）
横谷 円（麻酔）
松本 木綿子（麻酔）
小島 拓也 （麻酔）
吉田 賢一 （麻酔）
境田 文威 （麻酔）

日本麻酔科学会麻酔科認定病院番号：390
特徴：県内唯一の総合周産期母子医療センターがあり、高度救急救命センターにはドクターヘリが設置されている.
急性期医療に特化した麻酔管理のみならず，独立診療体制の産科麻酔，ペイン，集中治療のローテーションが可能で，手術室麻酔のみならずオールラウンドな麻酔科医を目指すことができる.

聖路加国際病院（麻酔科認定病院番号：249）

研修実施責任者：阿部　世紀
日本麻酔科学会指導医・厚生労働省認定臨床研修指導医資格：
専門研修指導医: 阿部　世紀　（麻酔、小児麻酔）
藤田　信子　（麻酔、心臓麻酔、産科麻酔、ペインクリニック）
佐久間　麻里　（麻酔、救急）
林　怜史　（麻酔、心臓麻酔、ICU）
篠田　麻衣子　（麻酔、区域麻酔）
早坂　知子　（麻酔、区域麻酔）
宮坂　清之　（麻酔、小児麻酔、シミュレーション教育）
小山　杏奈　（麻酔、ペインクリニック、産科麻酔）
城本　菜那　（麻酔、心臓麻酔）
大橋　雄大　（麻酔、産科麻酔）
井上　真由子　（麻酔、心臓麻酔）
坂野　彩　（麻酔、心臓麻酔）
吉武　朱里　（麻酔、産科麻酔）

蓮下　雄大　（麻酔、ペインクリニック）
山上　郁雄　（麻酔、心臓麻酔）
ハシチウォヴィッチ トマシュ　（麻酔、APS）
鈴木亜沙美　（麻酔、産科麻酔）

当院の手術室は15室あり、心臓外科、小児外科、胸部外科、腹部外科、脳神経外科、無痛分娩、また先端医療（TAVI、Mitralclip、Da Vinci手術（泌尿器、呼吸器外科、婦人科、外科、心臓外科）など）も含めた、幅広い症例が経験できる。
挿管・硬膜外カテーテル留置・中心静脈カテーテル留置、神経ブロックなど、様々な手技を習得し、合併症のある症例の麻酔も上級医の指導のもと独立して担当できます。心臓血管麻酔・産科麻酔など、将来サブスペシャリティー領域へ進む足がかりとなるトレーニングが受けられる。

5. 専攻医の採用と問い合わせ先

① 採用方法

専攻医に応募する者は，日本専門医機構に定められた方法により，期限までに志望の研修プログラムに応募する．

② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは，信州大学麻酔科website，電話，e-mail，郵送のいずれの方法でも可能である．

信州大学医学部附属病院　麻酔科蘇生科 石田 高志　（統括医長）
〒390-8621　長野県松本市旭3-1-1　信州大学医学部麻酔蘇生学教室
TEL 0263-37-2670
E-mail　tisd@shinshu-u.ac.jp
Website　http://www.shinshu-masui.jp/

6. 麻酔科医資格取得のために研修中に修めるべき知識・技能・態度について

① 専門研修で得られる成果（アウトカム）

麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は，4年間の専門研修を修了することで，安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し，国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる．具体的には，専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる．

１）十分な麻酔科領域，および麻酔科関連領域の専門知識と技能
２）刻々と変わる臨床現場における，適切な臨床的判断能力，問題解決能力
３）医の倫理に配慮し，診療を行う上での適切な態度，習慣

４）常に進歩する医療・医学に則して，生涯を通じて研鑽を継続する向上心

麻酔科専門研修後には，大学院への進学やサブスペシャリティー領域の専門研修を開始する準備も整っており，専門医取得後もシームレスに次の段階に進み，個々のスキルアップを図ることが出来る．

② 麻酔科専門研修の到達目標

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために，研修期間中に別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた専門知識，専門技能，学問的姿勢，医師としての倫理性と社会性に関する到達目標を達成する．

③ 麻酔科専門研修の経験目標

研修期間中に専門医としての十分な知識，技能，態度を備えるために，別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた経験すべき疾患・病態，経験すべき診療・検査，経験すべき麻酔症例，学術活動の経験目標を達成する．

このうちの経験症例に関して，原則として研修プログラム外の施設での経験症例は算定できないが，地域医療の維持など特別の目的がある場合に限り，研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒後臨床研修期間に経験した症例のうち，専門研修指導医が指導した症例に限っては，専門研修の経験症例数として数えることができる．

7. 専門研修方法

別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた１）臨床現場での学習，２）臨床現場を離れた学習，３）自己学習により，専門医としてふさわしい水準の知識，技能，態度を修得する．

8. 専門研修中の年次毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専攻医は研修カリキュラムに沿って，下記のように専門研修の年次毎の知識・技能・態度の到達目標を達成する．

専門研修１年目

手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し，ASA１～２度の患者の通常の定時手術に対して，指導医の指導の元，安全に周術期管理を行うことができる．

専門研修２年目

1年目で修得した技能，知識をさらに発展させ，全身状態の悪いASA３度の患者の周術期管理やASA１～２度の緊急手術の周術期管理を，指導医の指導のもと，安全に行うことができる．

専門研修3年目

心臓外科手術，胸部外科手術，脳神経外科手術，帝王切開手術，小児手術などを経験し，さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと，安全に行うことができる．また，ペインクリニック，集中治療，救急医療など関連領域の臨床に携わり，知識・技能を修得する．

専門研修4年目

3年目の経験をさらに発展させ，さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる．基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが，難易度の高い症例，緊急時などは適切に上級医をコールして，患者の安全を守ることができる．

9. 専門研修の評価（自己評価と他者評価）

① 形成的評価

- 研修実績記録：専攻医は毎研修年次末に，**専攻医研修実績記録フォーマット**を用いて自らの研修実績を記録する．研修実績記録は各施設の専門研修指導医に渡される．
- 専門研修指導医による評価とフィードバック：研修実績記録に基づき，専門研修指導医は各専攻医の年次ごとの知識・技能・適切な態度の修得状況を形成的評価し，**研修実績および到達度評価表**，**指導記録フォーマット**によるフィードバックを行う．研修プログラム管理委員会は，各施設における全専攻医の評価を年次ごとに集計し，専攻医の次年次以降の研修内容に反映させる．

② 総括的評価

研修プログラム管理委員会において，専門研修４年次の最終月に，**専攻医研修実績フォーマット**，**研修実績および到達度評価表**，**指導記録フォーマット**をもとに，研修カリキュラムに示されている評価項目と評価基準に基づいて，各専攻医が専門医にふさわしい①専門知識，②専門技能，③医師として備えるべき学問的姿勢，倫理性，社会性，適性等を修得したかを総合的に評価し，専門研修プログラムを修了するのに相応しい水準に達しているかを判定する．

10. 専門研修プログラムの修了要件

各専攻医が研修カリキュラムに定めた到達目標，経験すべき症例数を達成し，知識，技能，態度が専門医にふさわしい水準にあるかどうかが修了要件である．各施設の研修実施責任者が集まる研修プログラム管理委員会において，研修期間中に行われた形成的評価，総括的評価を元に修了判定が行われる．

11. 専攻医による専門研修指導医および研修プログラムに対する評価

専攻医は，毎年次末に専門研修指導医および研修プログラムに対する評価を行い，研修プログラム管理委員会に提出する．評価を行ったことで，専攻医が不利益を被らないように，研修プログラム統括責任者は，専攻医個人を特定できないような配慮を行う義務がある．

研修プログラム統括管理者は，この評価に基づいて，すべての所属する専攻医に対する適切な研修を担保するために，自律的に研修プログラムの改善を行う義務を有する．

12. 専門研修の休止・中断，研修プログラムの移動

① 専門研修の休止

- 専攻医本人の申し出に基づき，研修プログラム管理委員会が判断を行う．
- 出産あるいは疾病などに伴う６ヶ月以内の休止は1回までは研修期間に含まれる．
- 妊娠・出産・育児・介護・長期療養・留学・大学院進学など正当な理由がある場合は，連続して2年迄休止を認めることとする．休止期間は研修期間に含まれない．研修プログラムの休止回数に制限はなく，休止期間が連続して 2 年を越えていなければ，それまでの研修期間はすべて認められ，通算して4年の研修期間を満たせばプログラムを修了したものとみなす．
- 2年を越えて研修プログラムを休止した場合は，それまでの研修期間は認められない．ただし，地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については，卒後に課せられた義務を果たすために特例扱いとし2年以上の休止を認める．

② 専門研修の中断

- 専攻医が専門研修を中断する場合は，研修プログラム管理委員会を通じて日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会へ通知をする．
- 専門研修の中断については，専攻医が臨床研修を継続することが困難であると判断した場合，研修プログラム管理委員会から専攻医に対し専門研修の中断を勧告できる．

③ 研修プログラムの移動

- 専攻医は，やむを得ない場合，研修期間中に研修プログラムを移動することができる．その際は移動元，移動先双方の研修プログラム管理委員会を通じて，日本専門

医機構の麻酔科領域研修委員会の承認を得る必要がある．麻酔科領域研修委員会は移動をしても当該専攻医が到達目標の達成が見込まれる場合にのみ移動を認める．

13. 地域医療への対応

本研修プログラムの連携施設には，地域医療の中核病院，長野県立こども病院，国立循環器病センターなど幅広い連携施設が入っている．医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し，適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため，専攻医は，大病院だけでなく，地域での中小規模の研修連携施設においても一定の期間は麻酔研修を行い，当該地域における麻酔診療のニーズを理解する．

14.専攻医の就業環境の整備機能（労務管理）

研修期間中に常勤として在籍する研修施設の就業規則に基づき就業することとなります．専攻医の就業環境に関して，各研修施設は労働基準法や医療法を順守することを原則とします．プログラム統括責任者および各施設の研修責任者は専攻医の適切な労働環境（設備，労働時間，当直回数，勤務条件，給与なども含む）の整備に努めるとともに、心身の健康維持に配慮します．

年次評価を行う際，専攻医および専門研修指導医は研修施設に対する評価（Evaluation）も行い，その内容を専門研修プログラム管理委員会に報告する． 就業環境に改善が必要であると判断した場合には、当該施設の施設長、研修責任者に文書で通達・指導します．